

「第12回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2013」に参加して

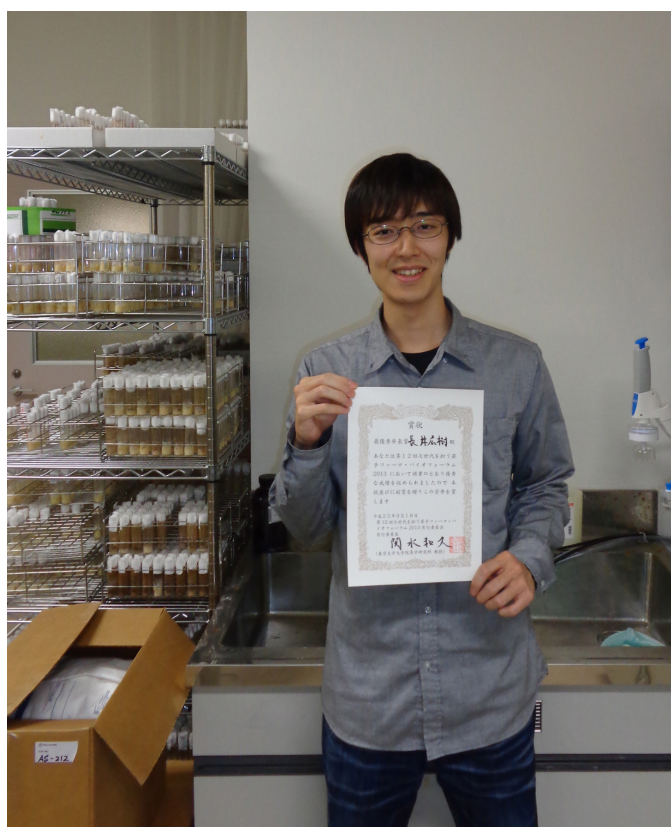
B4 長井広樹

私は、2013年9月14日、15日に東京にて開催された第12回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2013に参加させていただきました。

今回は研究室外で自身の研究について発表する初めての機会となりました。その初体験の場が長く厳しい質疑で有名なファーマ・バイオフィォーラムということで、発表直前は人生で一番緊張したと言っても過言ではありませんでしたが、普段の研究室での発表経験を活かしてなんとか発表・質疑をやりきることができました。しかし、質問に対して的確な返答ができなかったことや、他者の発表に対して質問をすることができなかったことは大きな反省点です。普段から研究室内での研究報告や論文紹介を通じて質問に答える力・質問をする力を鍛えていかねばならないと強く感じました。

その一方で、大変嬉しいことに、今回の発表に対し学部の部：最優秀発表賞を頂くことができました。自分のこれまでの成果を評価していただいたことは、今後の研究の更なる励みとなりました。この受賞に慢心せずこれからも努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、このような機会をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



次世代を担う若手ファーマバイオフォーラム 2013 に参加して

M2 増子 恵太

私は 2013 年 9 月 14・15 日に東京大学で行われたファーマバイオフォーラム 2013 にて口頭発表を行いました。このフォーラムは薬学系の学生の研究者としての能力を磨くことを狙いとして開催されており、例年通り非常に活発な（手厳しい？）質疑応答や議論が行われました。自分の研究分野（発生学）はこのような集会の中ではかなり珍しい部類に当たるので、分かりやすい発表スライド作り・構成を意識したのですが、なかなか難しいなあというのが実感でした。たくさん頂いたご指摘を今後の研究に活かしていきたいと思います。また、同年代の学生たちのレベルの高い発表を見るのはとても刺激になりました。

今回このような機会を与えてくださったことに感謝致します。